



## スケジュール

★はじめに ～杉並区広報専門監からひとこと～

★高千穂大学学部紹介 & 杉並区紹介

★アイスブレイク ～ふるさと自慢～

★すぎなミーティングスタート

・質問/学生から区長へ

・区長から学生へ

・区長に一問一答

★今日のふりかえり

・自治体経営者に伝えたい住みたいまちはどんなまち？

★区からのお知らせ ～広報・すぎCAN・防災マップの紹介～

★さいごに ～区長と学長からのあいさつ～

## すぎなミーティングについて

区では平成 23 年度以降、基本構想や区立施設再編整備計画の策定等に区民が自由に意見を交換する区民意見交換会を開催するなど、区民参加の仕組みづくりを進めてきました。

基本構想実現に向け、参加と協働による地域社会づくりを推進していくには、このような意見交換の場を設けると同時に、区政に対して普段発言する機会の少ない区民の声を、幅広く受け止めていく取組に力をいれていくことが必要です。

こうした認識のもと、区長と無作為抽出による幅広い区民が意見を交換する場及び区内の高校生・大学生との懇談の場として「すぎなミーティング」を実施し、区と区民の双方向のコミュニケーションを図り、さまざまな層、多様な世代の意見を区政に活かしてまいります。

## すぎなミーティング

### テーマ

「語り合おう、自治体経営と私たちが住み続けたい“まち”」

### 参加者

- 高千穂大学経営学部起業・事業承継コース学生 30名
- 杉並区長 田中 良
- ファシリテーター 谷 浩明 杉並区広報専門監

《ファシリテーター紹介》

合同会社 MACARON 代表/a-con(NPO コミュニケーション支援機

構)アートディレクター／ファイナンシャルプランナー／おもちゃコンサルタント



《学部紹介》



このコースは主に親が事業をしていたり、将来自分で起業したいという思いを持った学生が通っています。起業についての勉強がすごくできる学部です。

最近で開催したイベントでさまざまな会社のPRをチームに分かれてプレゼンし、その企業ができることや未来について語りました。他の学校ではなかなかない学部です。

《杉並区紹介》

杉並区は地域課題の解決のために、チャレンジを続ける魅力あふれる自治体です。



# アイスブレイク 「ふるさと自慢」～みんなのふるさとを自慢しよう～

みんな区長とは初対面で、肩に力が入っています。ミーティングを始める前に、ファシリテーターの谷さんからの提案で、それぞれの出身地とふるさと自慢の話をしてリラックスタイムを設けました。



# すぎなミーティングスタート

高千穂大学の学生は、起業・事業承継コースの学生として日頃から企業の経営者と話す機会もあり、自治体経営者としての区長へ、たくさんの質問がありました。



## 1 学生から区長への質問

(学生) なぜ、区長になろうと思われたのですか？

【区長】平成22年の区長選挙に際して、地元からの要請がありました。当時は、都議会議員で議長を務めており、悩みましたが、50代になれば、それまで応援してくれた人たちにお返しをしなければという私の人生観があり、要請を受け立候補しました。

(学生) 区長としてのやりがいは？

【区長】ありがとうございますと感謝されると充実感を感じます。それが新しいことに挑戦しようという意欲につながっていると思います。

(学生) 杉並区をどんなまちにしたいですか？

【区長】基本構想に定めたとおり、「支え合い共につくる安全で活力あるみどりの住宅都市」の実現ですね。人のライフスタイルは多様化していて、何が必要かはその時々で変化していきます。賛成する人があれば反対する人もいます。次の世代のために今やっておかなければならないことは何かということに常に意識して区政にあたっています。



(学生) 自転車のレンタル事業を始めている区がありますが、杉並も始めないのですか？南北の移動がスムーズになると思うのですが。

【区長】レンタル事業を実施するには、いろいろな考慮すべき点があると思います。まず、杉並だけで完結するか。必要な場合は近隣の自治体とも協力しないとスケールメリットがないのではないかと。また、もしマーケットとして成立するならば行政がやる必要があるのか。マーケットとして成立しないのなら、税金を投入する適否を考えなければならない。色々なハードルがある事業です。

(学生) ゼミのメンバーは、将来起業する人もいますが、起業にあたって、「阿佐ヶ谷キック・オフ オフィス」だけでなく、起業者を育成する支援があるといいのですが。



【区長】杉並から起業家が出るというのは夢のある話ですね。起業はまず、自力でというのが必要な世界だと思います。そこで、はじめから行政に頼るのではなく、事業をしていくための規制緩和や制度の創設など、具体策な起業活動の中で提案してくれると、区としても、より支援しやすくなるのではないかと思います。

(学生) 企業の誘致で、西永福を賑やかな町にして、やがては急行が止まるようにして欲しいと思います。

【区長】西永福は静かな住宅街で企業誘致ができる大きな土地もないことから、企業誘致によるまちづくりは難しいですね。「杉並区まちづくり基本方針」にもあるように、駅前が身近な生活拠点として魅力あるまちにしていきたいと思います。



(学生) 学園祭の実行委員をしているのですが、学園祭に地域の人がたくさん参加するようにしたい。区の協力は得られないでしょうか？



【区長】区でできることがあれば協力させていただきます。ただ、実行委員として集客するためにいろいろと活動することが大事ですね。私も学生時代に学園祭の実行委員をやったけど、活動して始めて、アイデアや企画が生まれてきました。区も「すぎなみフェスタ」をやっているが、協賛金集めなど、みんな苦労してやっています。



(学生) 一人暮らしで住民票を異動していないことから、震災時の避難所が分からないなど、心配なこともあります。そういった学生にどのように情報発信されていますか？

【区長】ホームページにアクセスしてもらえば、必要な情報が得られるようになっていきます。また、区内の小中学校が震災救援所になっています。

必要な支援ができるよう、いざという時、地域の皆さまと協力して震災救援所を運営できるよう、職員の参集体制を整えています。

## 2 区長から学生への質問 ①選挙権について

【区長】今回の参議院議員選挙から、18歳以上の国民に選挙権が与えられました。みなさん、投票に行こうと思っていますか？行かないと思っている人は、その理由も教えてください。

### 投票に行く人

(学生)

- 若い立候補者も出てきたので選挙に親近感が出てきたから
- 入れたい人がいる
- 行くのは義務だから、行かなきゃ
- 行かないと文句も言えないから
- 権利だから使わないとダメ
- どうしても投票したいわけではない。投票はしないが、何かあったら文句をいうというのは無責任だと思う。



### 投票に行かない人

(学生)

- 実家に住民登録があり、投票のために帰省したくない
- 誰に入れればよいかわからない
- 興味がない
- ポスターは顔だけで、判断できない。



**選挙権について、みなさんにお伝えしたいことが2つあります。**

【区長】選挙権という権利を行使できる環境があるのだから、自分たちで考えて権利を行使してほしい。選挙権については特に次の2点を意識してほしいと思います。

### 選挙権は歴史的に勝ち取ってきた尊い権利であること



【区長】一つは、投票は権利であって、義務ではない。皆さんは、いつの間にか今回から18歳に選挙権が拡大されたという感覚を持っていると思う。だけど、マグナカルタ（1215年）以来の歴史を持つイギリスを始め、どの国でも選挙権を得るための戦いや運動の歴史があります。我が国でも歴史的に勝ち取ってきた尊い権利であるということを意識して投票してほしい。

**選挙権を悔いの残らないよう行使して欲しい。**

【区長】もう一つは、選挙権は大事な権利であるけれど、その権利の行使が自分たちの幸せにつながるとは限らないという面もあることです。ドイツのヒトラーも選挙で選ばれていますね。

選挙は世の中を自分たちで決める国民の権利だけど、それを行使した結果、利益も不利益も自分たちが被るものだという前提に、その権利を悔いの残らないよう行使してもらいたい。

これが、みなさんにお伝えしたいことです。



## ②将来の生活について、③結婚観や子育てについて

【区長】将来結婚して、子どもがほしいと思ってる人は、どのくらいいますか？手をあげてください。



【区長】 結構な人数がいますね。

(学生)結婚という形にはとらわれないですが、子どもは欲しいと思います。

【区長】 どうして、みなさんにこういうことを聞くかというと、少子化対策、子育て支援が重要な区政の課題になっているからです。

(学生)田舎から出てくると、東京は人が多すぎるように思うのですが、それでも、少子化対策は必要ですか？

【区長】東京の人口が多いのは、地方から転入する人が多いことによります。日本の総人口が減少すれば区もその影響を受けるようになります。

このまま出生率が低いままだと、人口の減少が加速します。国の推計だと2060年には約8670万人、1950年（昭和25年）と同程度の人口規模になります。ただ、人口規模は同じでも、1950年には5%であった高齢化率が、2060年には約40%になるという大きな人口構成の違いがあります。少子高齢が急速に進むことから、少子化対策が必要になってきます。

【区長】少子高齢社会について、もう少し具体的に考えてみましょう。若い人が少なく、高齢者が多いとどのようなことが起こると思いますか？

(学生)杖がたくさん売れるとか（笑い）。高齢者の生活を支援する政策が政治のメインになったり、高齢者対象の産業とかの社会需要が増えると思います。



### 少子化対策は重要な課題

【区長】それもあるけど、このまま人口減少が進み、少子高齢化がさらに進むと、社会保障の担い手（生産年齢人口）が減少していきますね。そうすると、年金、医療、介護等の社会保障制度を安定的に維持していくことが難しいという影響が出てきます。

だから、そのようなことがないように、少子化に歯止めをかけなければなりませんね。そのためには、出産を踏みとどまることがないように、仕事と子育てが両立する環境を整備することが必要になります。働いている人が安心して育児休暇をとれるよう国が労働行政に力をいれることや、区としても、待機児童解消に向けて保育園の増設に力を入れなければなりません。



### 3 今日の振り返り

自治体経営者である区長と起業を目指し勉強をしている皆さんとの意見交換の後、どんなまちに住みたいか考えていただきました。

(学生)ありのままで暮らせる。住みやすいまち

(学生)互いにお互いのお互いのできる温かいまち

(谷) コミュニケーションが活発なまち

(学生) 静かで、人と人が助け合えるまち

【区長】安心なまち。ここに行きつくと思う。



### 【私たちが住み続けたいまち】



## 4 最後に

【区長】今日は長時間にわたって、みなさんと楽しい時間を過ごすことができました。

学校で学べることはしっかり学んで、それプラス学生生活をエンジョイして常に前向きな気持ちで人生を送ってください。

若いうちは失敗を恐れずにチャレンジしてほしいと思います。

本日はありがとうございました。



【学長】我々、大学の教員が学生たちに教えている学問は体系立っていて、授業の内容も先が読める。一方、社会には次の展開が読めないこともたくさんあり、その時にどのように判断して行動していくかが重要だと思います。

本日は、自治体のトップである田中区長を先生として、いろいろお話を伺うことで、どのように行動していくか感じ取ることができたと思います。

いい機会を与えてくれてありがとうございました。またこれを機会に大学としても区民のみなさまとも連携して地域に貢献していきたいと思っています。



高千穂大学 笹金 光徳 学長

## 編集後記

みなさんには、慣れない雰囲気の中だったにも関わらず、活発に発言をいただきありがとうございました。ここに報告をさせていただくとともに、高千穂大学生との貴重な実践経験を、関係部署で情報共有し、今後の取組みに活かしてまいります。

その他、区長への一問一答は、「休日の過ごし方」「結婚観」等、区長のプライベートに関する質問が多数あり、和やかな雰囲気での懇談会が終了したことをご報告いたします。

区政相談課

～アンケート結果～ (n=25)

Q1 「区政を話し合う会」の進め方や内容はどうか？

・進め方について

■ とてもよかった      ■ よかった      ■ あまりよくなかった



・内容について(無回答7名)

■ とてもよかった      ■ よかった      ■ あまりよくなかった



・時間について(無回答7名)

■ 長い      ■ ちょうどよい

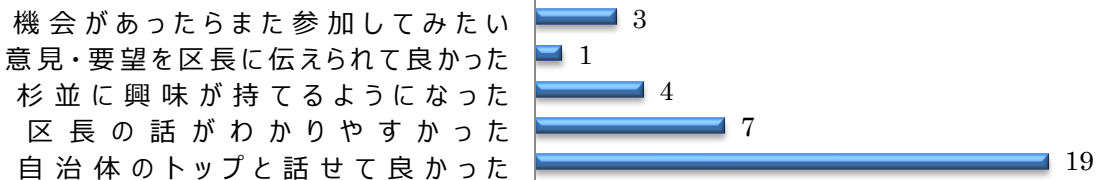


Q2 話しやすい雰囲気でしたか？

■ 話しやすかった      ■ 普通      ■ 話しづらかった



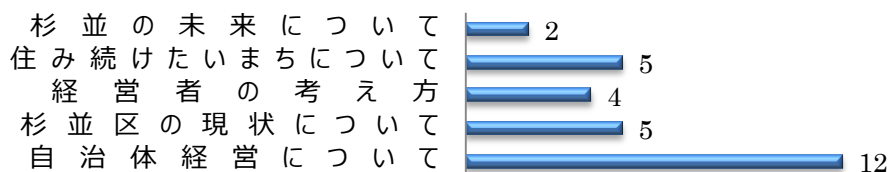
Q3 「区政を話し合う会」に参加した感想は？ (複数回答)



その他の感想

- ・ゼミの一環として参加したが、参加して良かったと思います。
- ・もっと自分の意見を言いたかった。
- ・聴く側に回ることが多く、もう少し話したかった。
- ・区長の話はわかりやすかったけど、長かった。
- ・時間が足りなかったので、機会があったらまた参加してみたい。

Q4 最も興味をひかれたことは何ですか？ (複数回答)



その他興味をひかれたこと

- ・自治体トップの考え方。

## 【自由意見】

- ・熱血漢な区長なのでもっとしゃべりたかった。
- ・西永福駅前のベンチの雰囲気が好きです。杉並区と区長が好きになりました。
- ・お願いすれば学園祭への協力もすると言っていただけて、前向きな話ができそうで良かった。
- ・参加して区長の考えが少し分かったので良かった。
- ・区長の「企業家支援」のスタンスが分かった。起業する時に行政の支援を頼りにするのはナンセンスだが、まちづくりを考えた時、人、金、モノの循環のムーブメントを起こすのは行政がバックについてキッカケづくりをしても良いのでは？高千穂大学と連携で杉並を盛り上げましょう。
- ・時間はもう少し余裕があった方がいいのではないか。
- ・杉並区の現状について知らないのでそこも説明して欲しかった。
- ・もっとフラットな雰囲気を想像していました。
- ・機会としてはとても有意義だったと思うので、より良いものとして今後も続けてほしい。

この報告書は、出席者の方の意見と区長からの回答を抜粋して編集させていただきました。

## ～区政を話し合う会報告書～

平成 28 年 8 月 編集・発行 杉並区総務部区政相談課  
〒166-8570  
杉並区阿佐谷南 1 丁目 15 番 1 号  
TEL03-3312-2111 (代表)